



平成18年2月22日

各位

会社名 東邦チタニウム株式会社
代表者名 代表取締役社長 野上 一治
コード番号 5727 (東証第二部、大証第二部)
問合せ先 経営企画部企画担当部長 松原 浩
(電話番号 0467 - 82 - 0742)

チタンインゴットの生産能力増強投資について

先般(平成17年11月10日)チタンインゴットに関する生産能力増強構想を公表いたしました。本日開催の取締役会におきまして、下記のとおり増強投資の実行を正式に決定いたしましたので、お知らせいたします。

なお、チタンインゴットと同時に発表いたしましたスポンジチタン増強構想に関しましては、具体的内容がまとまり次第お知らせいたします。

記

チタンインゴット生産能力増強投資の内容

項目	内容
増強内容	大型EB (Electron Beam) 溶解炉新設
増強前生産能力	9,000 (t/年)
増強後生産能力	19,000 (t/年)
能力増強分()内は増強率	10,000 (t/年) (+111%) (注)
建設計画	平成18年7月 着工 平成20年3月 完工 平成20年4月 営業運転開始
投資額	5,070百万円
資金計画	全額自己資金で賄う予定
立地	北九州市(新日本製鐵(株)八幡製鐵所内)

(注)当初、能力増強は7,000 t/年と発表しておりましたが、その後、設備能力と需要動向を総合的に検討いたしました結果、10,000 t/年の能力増強としたものであります。

新溶解炉の設計概念は以下のとおりであります。

ユーザーのニーズに合わせるため、広幅、大単重の世界最大のインゴットを製造可能とする。

原料としては、スポンジチタンだけでなく、従来国内では溶解困難であった大型スクラップもリサイクル可能な構造とし、資源の有効活用を図る。

以上